

2021.12.26

## 2021年度 教育課程づくり集会

～2019年度からの3年間の中学校の教育課程に起きてきた変化について～

摂津市立中学校 山地麻衣

この3年間でコロナによって、学校組織や、教員の負担増、そして行事の在り方において、大きな変化があった。学校組織においては、例年になかった労働の在り方について議論がなされ、また教員の負担については、オンラインや予定変更で大きく増加した。また当たり前前にできていた行事においてもその実施について試行錯誤しながら新しい形を模索して創っていく上で、大変な苦勞とやりがいがあった。今回は、現場からの報告ということで、行事に関する実践を中心に話したいと思います。

2019年 自分の担当（1年担任・教務・進路学活総合）

- ・2月末突然の休校。
- ・3月卒業式は卒業生と保護者と教員、在校生代表のみ参加。合唱なし、校長挨拶、答辞、送辞のみ1時間。
- ・離任式なし。

2020年（2年担任・教務・進路学活総合）

- ・分散登校で5月末よりスタート。オンラインで始業式。
- ・6月15日より一斉登校。入学式は新入生と保護者1名。
- ・9月 文化発表会 二部制で実施。保護者参観なし。
- ・10月 体育大会 応援合戦縮小。マスク着用の競技と、外す競技。競技によっては、招集が、グラウンドに直接という形を取り、密を減らす。
- ・11月 修学旅行、延期後中止。学年合唱コンクール実施。
- ・3月 卒業式 昨年度同様。

2021年（3年担任・教務・進路学活総合担当）

- ・9月 文化発表会 二部制で実施。舞台の内容が増える。保護者参観あり。
- ・10月 体育大会 全員での応援合戦へ。声を出さずに皆ができる内容に変える。
- ・10月 修学旅行 二泊三日。宿舎、バス、クラスを二分割して分散で行う。
- ・11月 全校合唱コンクール実施。小6の参観、保護者参観。
- 3月 卒業式 全学年で実施予定。

\*全体としての印象は、前年度にできた行事の形を踏襲し、できる範囲を増やしていった。またタブレットが昨年祖11月に導入。そこから授業のやり方が激しく変化していく。コロナというより、2021年はGIGAスクール構想による変化の年であるようにも思う。

## ● 変わったこと

【行事の準備・あり方】

- ①当日や前日感染者が出たり、府教委、市教委の指示で急にできなくなった時のため、**事前に映像に残したりして練習と本番を兼ねて進めていこうと計画していた**。しかしオンラインで舞台発表を見ても、やはり迫力は伝わらないし、観ている生徒もしんどいだろうと思った。幸運にも何も起こらず当日を迎えることができた。子どもの練習から頑張りをしている者としては、是非舞台上で発表させてやりたいと、常にドキドキし変化を気にしていた。
- ②一つの大きな行事（文化発表会、体育大会、修学旅行、合唱コンクール）などは、取り組み期間も計画されているため、それぞれのの行事に約4、5時間の取り組みが予定される。学期ごとに学活案を提案するため、学期前にコロナの感染状態がひどくなると、**その取り組みが全くできなかった時の代替案も片方で考えておく必要があった**。
- ③**感染防止対策をしっかりとる**。練習から本番にかけてきちんと保護者や外部に向けても安全を説明できるよう行った。
- ④取り組み前から心構えを伝える。できることが当たり前ではないこと、日ごろの感染対策をしっかりとること。また**行事の延期や中止もあり得ることを踏まえて教員だけでなく、生徒に対しても見通しを持たせた**。また今まで以上に行事を作るうえで、生徒の声を聞くことを大切にした。

以上が行事におけるこの2年間の変化である。

## 〇おまけ

行事の在り方以外に、他にも変化したことを考えた。

### 【教員の精神状態】

- ①疲労感がたまりやすい。ただ、2020年度が一番しんどく、2021年度はまし。
- ②2020年度は、諦めた方が楽だという気持ちがどこかにあった。
- ③**2021年度は、諦めずにやって粘り勝ちをした経験があり、とにかく計画、準備して臨むことができ楽になった。**

### 【生徒】

- ①分散登校で一時期不登校が減る。また当たり前だった学校の良さに気づいたり、分散登校からスタートしたこともあり、**授業の参加が前向きだった。**
- ②皆頑張っている中、健気に周囲に気遣い生きる中で、トラブルや暴力は減り、**逆に鬱傾向の女子生徒が増えた。**
- ③**行事ができることへの嬉しさ感謝が生まれる。**練習から積極的に頑張る姿。
- ④日常を取り戻しつつあるが、**行事が立て込んできて、続くことで、疲労感がでてくる。**また進路に向かう気持ちが作り切れていない。

### 【分掌】

- ①**教務は大変に。生徒指導は楽になる。**  
生徒指導が起こりづらくなった。  
教務は、休校になれば、年間スケジュールを変更。時間割を組みなおす。また分散登校になれば、新しく時間割元版を作成。授業時数の予想カウント。常に変化に目まぐるしく対応。仕事量としては感覚として2倍以上になった。

### 【組織】

- ①これまでの自分達の労働や勤務に対する考え方。  
朝からの検温のため生徒を下足で待ち受ける。家庭を持っている人の働き方の難しさ。  
**労働者としての権利。誰もが働ける時程⇔子ども達を優先する考え方。**
- ②**トップダウンへの反発と従順。**市によって休校も分散もオンライン授業も違う。また感染者が出た時も保健所によって対応が違う。情報のなさ。手探りで自分の頭で考えるようになる人と、より従順に指示を待つ人に分かれていく。議論が起こるようで、発言するのは同じ人。